

かわにしのうちほぜんかい

# 川西農地保全会（松本市）

・組織の活動面積 A= 73.4 ha	組織形態	農地維持 ■	資源向上(共同) ■	資源向上(長寿命化) □
・組織の構成員数 約 104 人	取組開始年度	平成26年～	平成27年～	—

構成員	農家、神林土地改良区、梓川土地改良区、中信平右岸土地改良区、川西開田組合、川西町会、鵜の会
-----	---

## 組織の概要

私たちの活動地域は、松本市の南西に位置し、松本空港・アルウィンサッカー場を要する神林地区の西方で今井地区・和田地区・山形村と隣接する農業地帯で畑作農業が営まれていましたが、昭和30年代より林野を開田し農業用水を梓川から取り入れ稲作を中心に営んできました。

世帯数は、地区内で一番少なく耕作面積は地区の三分の一を有する純農村集落ですが、近年農業者の高齢化と若者の他産業への流出により後継者不足と農業従事者の減少が深刻化するとともに何年か後には、空き家と老人世帯が増え地域の農地を守る事もままならなくなる事が予測され「農地を守る、農業を守る、川西地区を守る」

## 農地を守る郷土の力

遊休荒廃農地ゼロを目指して



高齢化により耕作放棄地の復活



遊休農地の  
回復を図る  
ための  
取り組み



水路清掃



排水路の泥上げ



通水点検



一年の労をねぎらう収穫祭

農業用水の源流頭首口視察



三間沢川清掃・河川美化に取り組む

三間沢川は山形村から神林と和田の境を流れ、水代橋上流で鎖川に合流する。昭和30年ころ堤防が決壊し「牛のお腹近くまで水につき、桶やタイヤ辺りに浮いていた」水害もあり、「うっそうとした三間沢川のアカシヤを何とかしようと2年がかりで景観を保つことができた。  
松本市神林公民館官報抜粋

